

人員降下訓練に伴う福生市へのフィンの落下について（要請）

令和2年7月10日、北関東防衛局より、「令和2年7月7日（火）午後7時30分頃、横田飛行場におけるパラシュート降下訓練中に、東京都福生市牛浜58-1 JR牛浜駅西口駐輪場付近にフィン（足ヒレ）を落下した。被害は確認されていない。」との情報提供がありました。

7月7日に落下事故が発生していたにもかかわらず、7月9日までの間に情報提供がなかったことは、信頼関係を損ねる行為であります。

また、横田基地においては、6月16日のCV-22オスプレイの部品遺失事故、7月2日の立川市へのパラシュート落下事故、そして今回の福生市へのフィンの落下事故と、人命に関わりかねない重大な事故が短期間に3回も発生しました。このことは、いつまた事故が発生するのではないかという周辺住民の不安を増幅させる、まさに日常の生活環境を脅かす事態であります。

さらに、事故原因や再発防止策の説明を行うまでは、同様の訓練は行わないこと等を再三求めてきたにもかかわらず、これらに関する具体的な説明がないまま、三たび、こうした事態が発生したことは、これまで要請してきた経緯を踏みにじるもので、極めて遺憾であり強く抗議します。

貴職においてはこのような状況を十分認識され、再発防止と安全確保に抜本的な対策を講じるよう、次のとおり強く要請します。

記

- 1 部品遺失事故および人員降下訓練に伴う基地外への落下事故の、原因、他の落下物の有無および再発防止策について、至急、関係自治体へ説明を行うこと。
- 2 安全な訓練の実施に関する教育を徹底すること。
- 3 上記を行うまでの間、同様の訓練は行わないこと。

令和2年7月14日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
アンドリュー J. キャンベル大佐 殿

青梅市長 浜 中 啓 一